

講 義 概 要  
Syllabus

令和5年度  
(2023年度)

国際科  
1年次

熊本外語専門学校

科目名	初級英会話	国際科	1年通年
講師	Garry Irwin	講義	水曜2限
実務経験のある教員等による指導		2単位 36時間	全32回
科目概要	国際的に活躍できる人材になるために、日本語だけでなく、英語も身に付ける。1年次は身近なテーマや日常会話から実践的に学習を行う。		
到達目標	身近なテーマや日常会話ができるようになることを目標とする。		
授業計画			
1	Self introductions		
2	Introduce Smart Choice textbook		
3	Unit 1 I'm a student - Vocabulary - Jobs		
4	Conversation, language practice around Unit 1		
5	Unit 2 Finding out personal information		
6	Speaking practice around Unit 2		
7	Unit 3 Things you have		
8	Grammar - this, that, these and those. Unit 1-3 review		
9	Unit 4 Likes and dislikes		
10	Simple present 'Like' - music genres		
11	Unit 5 Things to do		
12	Simple present tense		
13	Unit 6 Things you can do - Can and Can't		
14	前期定期試験 Exam		
15	Unit 6 Review - Exam prep		
16	Task : Homework/Self Study		
17	Grammar		
18	Unit 7 Clothes. Present continuous grammar. Unit 4-6 review		
19	Speaking about people - descriptions		
20	Unit 8 Things in your home - There is/There are		
21	Grammar - positions, locations, on, in, under, by, etc		
22	Unit 9 Places and directions		
23	Grammar - Prepositions of place. Giving directions. Unit 7-9 review		
24	Unit 10 Food and Drink vocabulary		
25	Grammar - past-present-future tenses		
26	Unit 10 Review		
27	Grammar. Count/Non-count nouns		
28	Unit 11 Past tense. BE verb		
29	Speaking about past activities		
30	Unit 12 Simple Past. Weekend activities, hobbies.		
31	Unit 10-12 review Exam prep.		
32	後期定期試験		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	『Smart Choice Level 1』（Oxford University Press）		

科目名	基礎英語	国際科	1年通年
講師	松本 真夕	講義	火曜5限
実務経験のある教員等による指導		2単位 36時間	全34回
科目概要	英語の単語を覚え、文法を理解し、基礎的な構造を理解する。		
到達目標	英語検定4級レベルの英語力を習得することを目標とする。		
授業計画			
1	英検5級基礎的な語彙と文法の確認		
2	英検5級基礎的な語彙と文法の確認		
3	よく出る動詞		
4	Have, take使い方		
5	時を表す語		
6	人の様子を表す形容詞		
7	go, get, come動詞		
8	have, look, take動詞		
9	動詞熟語		
10	形容詞の熟語		
11	時や場所を表す動詞		
12	過去の文		
13	was, wereの文		
14	未来の文		
15	have toの文		
16	定期試験		
17	定期試験FB		
18	動名詞、不定詞		
19	文と文をつなぐ語		
20	比べる言い方		
21	比較文		
22	語順に注意する文		
23	存在文		
24	許可の文		
25	依頼の文		
26	すすめる文		
27	誘う文		
28	提案の文		
29	感想を聞く文		
30	Whatの文		
31	人や理由の尋ね方		
32	定期試験		
33	定期試験FB		
34	復習		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	英検4級をひとつひとつわかりやすく		

科目名	日本文化 茶道	英語科	1年通年
講師	飽本 晴美	実技	水曜5限
実務経験のある教員等による指導		2単位 32時間	全30回
科目概要	外国の方に日本文化を紹介し、もてなすことに役立てられるよう抹茶の点て方を学びます。和室での所作やお点前など何度も繰り返し、体で覚え身につけることを大切にします。		
到達目標	盆手前ができるようになることを目指します。		
授業計画			
1	お菓子の食べ方（取り回し）、お茶の飲み方、出し方		
2	座り方、お辞儀の仕方、ふすまの開け方、締め方		
3	床の拝見の仕方、茶道具の名前を覚える		
4	割り稽古：袱紗捌き、棗の拭き方		
5	割り稽古：袱紗捌き、茶杓の拭き方		
6	割り稽古：茶巾のたたみ方、茶碗への道具の仕込み方		
7	割り稽古：茶筌通し、茶碗の拭き方		
8	割り稽古：茶杓の扱い、茶筌の扱い（茶の点て方）		
9	通し稽古（湯なし）：茶を点てるまで		
10	通し稽古（湯なし）：茶を点てるまで		
11	通し稽古（湯なし）：茶を点ててから片付けまで		
12	通し稽古（湯なし）：茶を点ててから片付けまで		
13	通し稽古（湯なし）：茶を点ててから片付けまで		
14	実技試験		
15	講義		
16	通し稽古（湯あり）		
17	通し稽古（湯あり）		
18	通し稽古（湯あり）		
19	通し稽古（湯あり）		
20	通し稽古（湯あり）		
21	通し稽古（湯あり）		
22	通し稽古（湯あり）		
23	辛島祭（お茶会）準備：稽古		
24	辛島祭（お茶会）準備：稽古		
25	辛島祭（お茶会）準備：稽古		
26	通し稽古（湯あり）		
27	通し稽古（湯あり）		
28	通し稽古（湯あり）		
29	実技試験		
30	講義		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々的小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	—		

科目名	ビジネスマナー	国際科	1年通年
講師	松本 真夕	講義	火曜1限
実務経験のある教員等による指導		2単位 36時間	全35回
科目概要	留学生が日本で日本人と働く際に困らないよう、ビジネスにおけるマナーとルールの基礎を学ぶ		
到達目標	日本でのルールやマナーを理解し、身につけることでアルバイト先や社会に出てからも行動できるようになる		
授業計画			
1	第1章	日本人と働く心がまえと	
2	第1章	同僚との付き合い方	
3	第1章	ウチとソトの関係	
4	第1章	配慮のある話し方	
5	第1章	話の進め方	
6	第2章	時間厳守	
7	第2章	身だしなみとあいさつ	
8	第2章	報告、連絡、相談	
9	第2章	情報管理、ハラスメント	
10	第3章	話を聞く時	
11	第3章	注意を受ける時	
12	第3章	冠婚葬祭のマナー	
13	第3章	食事の席でのマナー	
14	復習		
15	定期試験		
16	定期試験FB		
17	第4章	名刺の扱い方、雑談	
18	第4章	場所ごとの席次	
19	第4章	お茶の出し方	
20	第4章	訪問のマナー	
21	第4章	営業活動	
22	第4章	派遣・出向	
23	第5章	敬語	
24	第5章	話しことばと書きことば	
25	第5章	漢字の使い方	
26	第5章	ビジネスマナーメール	
27	第5章	ビジネス文書	
28	第5章	はがきと封筒の使い方	
29	第5章	電話を受ける時	
30	第5章	電話をかける時	
31	復習		
32	定期試験		
33	定期試験FB		
34	復習		
35	復習		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	「留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール」		

科目名	異文化理解	国際科	1年通年
講師	上村 ひとみ	講義	木曜4限
実務経験のある教員 等による指導		2単位 36時間	全33回
科目概要	世界の多様な文化、習慣に対しての理解を深める。 主に、場面を通して、自分の国の文化との比較を行う。		
到達目標	異なる文化の人と出会ったときに、問題なくスムーズにコミュニケーションがとれるようになることを目標とする。		
授業計画			
1	4月1		
2	4月2		
3	4月1、2の復習		
4	5月1		
5	5月2		
6	5月1、2の復習		
7	6月1		
8	6月2		
9	6月1、2の復習		
10	7月1		
11	7月2		
12	8月1		
13	4月1～8月1 復習		
14	前期定期試験		
15	前期定期試験FB 8月2		
16	9月1		
17	9月2		
18	後期授業開始：9月の復習		
19	10月1		
20	10月2		
21	10月の復習		
22	11月の1		
23	11月の2		
24	12月1		
25	12月2		
26	8月2～12月2 復習		
27	後期定期試験		
28	後期定期試験FB		
29	1月1		
30	1月2		
31	2月1		
32	2月2		
33	ひな祭り		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める。</p>		
教科書名	『マンガで学ぶ日本語表現と日本文化ー多辺田家が行く!!』（アルク）		

科目名	総合教養講座	国際科	1年通年
講師	上野 綾子	講義	金曜5限
実務経験のある教員等による指導		2単位 36時間	全32回
科目概要	日本で就職活動をするにあたって必要となるスキルを身に付け、実際に「使える」ように実践も取り入れる。 面接などの際に話が広げられるように今社会では何が起きているのか時事問題も授業の中で取り上げる。		
到達目標	就職活動に対しての心構えと就職活動に意識を向けることを目標とする。 実際に就職活動において使える能力を育成する。		
授業計画			
1	就職活動についての説明 自己紹介 自己分析について 自己分析：自分の強み		
2	自己分析：自分の長所・短所		
3	自己分析：頑張ったこと		
4	自己分析：頑張ったこと 自分の好きなこと／嫌いなこと		
5	自己分析：マインドマップ作り 自分を知る		
6	自己分析：目標の設定 就職活動の予定表づくり		
7	自分自身のキャッチコピー作り		
8	自分自身のキャッチコピー作り+自己分析のまとめ		
9	募集条件の見方～内容の把握～		
10	企業研究：「業界・業種・職種」について		
11	業界研究の仕方		
12	業界研究の仕方		
13	企業について知る-働くとは-		
14	企業について知る-働くとは-		
15	前期定期試験		
16	前期定期試験FB		
17	まとめ・活動		
18	後期授業開始：企業研究の仕方		
19	企業研究の仕方		
20	面接の際どうする？面接の際の対応について		
21	面接練習／面接の流れ／面接の際に気を付けること		
22	面接官になってみよう-他の人の履歴書から-		
23	履歴書の書き方練習		
24	履歴書の書き方練習②		
25	履歴書の書き方実践+まとめ		
26	志望動機の書き方		
27	志望動機の書き方		
28	志望動機の書き方		
29	ハローワークの方来校 就職活動の指導		
30	後期定期試験		
31	後期定期試験FB		
32	まとめ・活動		
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名	『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』（国書刊行会）		

科目名	社会人基礎力育成	国際科	1年通年
講師	鈿農 美智子	講義	金曜1限
実務経験のある教員等による指導		2単位 36時間	全32回
科目概要	聞き手に情報を提示して、理解を得るようにするための「プレゼンテーション」に実際に取り組むことで、社会人としての総合力を育成する。		
到達目標	プレゼンテーション、ディスカッション、スピーチ等働くうえで役に立つ能力を育成することを目標とする。		
授業計画			
1	プレゼンテーションってなに？		
2	スピーチ力育成（1） 魅力的な自己紹介		
3	スピーチ力育成（2） 昔話を紹介する。		
4	プレゼンテーションの準備 導入、（計画）		
5	プレゼンテーションの準備 （計画）		
6	プレゼンテーションの準備 （計画）		
7	プレゼンテーションの準備 （原稿作成）		
8	プレゼンテーションの準備 （原稿作成）		
9	プレゼンテーションの準備 （原稿作成）		
10	プレゼンテーションの準備 （スライド作成）		
11	プレゼンテーションの準備 （スライド作成）		
12	プレゼンテーションの準備 （スライド作成）		
13	プレゼンテーションの準備 （リハーサル）		
14	前期定期試験（発表）		
15	定期試験FB、プレゼンテーション発表後の懇談会		
16	スピーチ力育成（3）、プレゼンテーションの準備（計画）		
17	スピーチ力育成（4）、プレゼンテーションの準備（計画）		
18	後期授業開始 スピーチ力育成（5）、プレゼンテーションの準備（計画）		
19	スピーチ力育成（6）、プレゼンテーションの準備（原稿作成）		
20	スピーチ力育成（7）、プレゼンテーションの準備（原稿作成）		
21	スピーチ力育成（8）、プレゼンテーションの準備（原稿作成）		
22	スピーチ力育成（9）、プレゼンテーションの準備（原稿作成）		
23	スピーチ力育成（10）、プレゼンテーションの準備（スライド作成）		
24	スピーチ力育成（11）、プレゼンテーションの準備（スライド作成）		
25	スピーチ力育成（12）、プレゼンテーションの準備（スライド作成）		
26	スピーチ力育成（13）、プレゼンテーションの準備（リハーサル）		
27	スピーチ力育成（14）、プレゼンテーションの準備（リハーサル）		
28	スピーチ力育成（15）、プレゼンテーションの準備（リハーサル）		
29	スピーチ力育成（16）、プレゼンテーションの準備（リハーサル）		
30	後期定期試験（発表）		
31	後期定期試験FB、プレゼンテーション後の懇談会		
32	総復習		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々的小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したことと認める。</p>		
教科書名	『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力：日本で働くための「4つの能力」養成ワークブック』（図書刊行会）		

科目名	PCスキル基礎	国際科	1年通年
講師	恒松 宏美	実習	水曜1限
実務経験のある教員等による指導	職業訓練校で社会人求職者を対象に主にWord、Excelの実技指導した経験を活かして、初心者から経験者まで受講者のレベルに合わせた指導と個別指導を徹底する。	2単位 36時間	全32回
科目概要	1年次では、基本的なコンピューターの使い方を学ぶ。まずは、日本語でコンピューターを入力することに慣れ、日本語を用いてWord、Excel、メールなどの作業ができるようになることを目標とする。Windows10、Word2016の基本操作をテキストを使いながら操作を中心に進める。またインターネットの使用ルールを正しく理解する。		
到達目標	Windowsでは、基本操作ができるようになる。 Wordでは、入力、文書作成、表の作成、デザイン文書が作成できるようになる。情報倫理では、インターネットの使用ルールを正しく理解できるようになり、情報モラルが身に付くことを目標とする。		
授業計画			
1	Windows起動・基本操作・Windows終了		
2	(Word) Wordの概要・Wordを起動する・Wordの画面構成・Wordを終了する		
3	作成する文書を確認する・新しい文書を作成する		
4	文章を入力する		
5	文字を削除する・挿入する		
6	文字をコピーする・移動する		
7	文章の体裁を整える		
8	文章を印刷する・文章を保存する		
9	作成する文書を確認する・ワードアートを挿入する		
10	画像を挿入する・文字の効果を設定する・ページ罫線を設定する		
11	作成する文書を確認する・表を作成する・表のレイアウトを変更する		
12	表に書式を設定する		
13	段落罫線を設定する		
14	日本語ワープロ検定3級		
15	日本語ワープロ検定3級		
16	前期定期試験		
17	(PowerPint) PowerPintの起動・PowerPintを起動する・PowerPintの画面構成		
18	作成するプレゼンテーションを確認する		
19	新しいプレゼンテーションを作成する・テーマを適用する		
20	ブレースホルダーを操作する		
21	新しいスライドを挿入する・図形を作成する		
22	SmartArtグラフィックを作成する		
23	スライドショーを実行する		
24	画面切り替え効果を設定する・アニメーションを設定する		
25	プレゼンテーションを印刷する・発表者ビューを利用する		
26	プレゼンテーション作成検定3級		
27	プレゼンテーション作成検定3級		
28	プレゼンテーション作成検定2級		
29	プレゼンテーション作成検定2級		
30	プレゼンテーション作成検定2級		
31	まとめ		
32	後期定期試験		
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名	『よくわかる Microsoft Word 2016 & Microsoft Excel 2016 & Microsoft PowerPoint 2016 <改訂版>』（FOM出版）		

科目名	保健体育		英語科	1年通年
講師	麦島 幸喜		実技	金曜6限
実務経験のある教員等による指導			2単位 32時間	全30回
科目概要	健康の考え方、健康を保持・増進するためには何が必要か。生活習慣病とは？脳はどのような働きをするのか？応急処置の理解。運動技能にはどのような違いがあるのか、技能を高めるためには、どのような工夫が必要か。スポーツの楽しみ方を学ぶ。			
到達目標	応急処置ができるようになる 運動技能・技術を高め、スポーツを楽しめるようになる チームで勝敗を競い、集団行動の中から、まとめ役となれるようなリーダーを目指す			
授業計画				
1	体力測定（前期）			
2	現代社会の健康	①健康の考え方と課題		
3	現代社会の健康	②健康水準と病気の傾向		
4	運動やスポーツの学習	①体幹（バランスボール、マット運動 等）		
5	運動やスポーツの学習	②体幹（バランスボール、マット運動 等）		
6	運動やスポーツの学習	③球技（卓球、ポートボール、ドッジボール 等）		
7	健康の増進と病気の予防	①生活習慣病とはどのような病気か		
8	健康の増進と病気の予防	②食事と健康		
9	健康の増進と病気の予防	③運動と健康		
10	健康の増進と病気の予防	④休養と睡眠		
11	健康の増進と病気の予防	⑤禁煙と飲食と健康		
12	健康の増進と病気の予防	⑥薬物乱用とその予防		
13	健康やスポーツの学習	④球技（卓球、ポートボール、ドッジボール 等）		
14	健康とスポーツの学習	⑤球技（卓球、ポートボール、ドッジボール 等）		
15	健康とスポーツの学習	⑥球技（卓球、ポートボール、ドッジボール 等）		
16	体力測定（後期）			
17	運動とスポーツの学習	⑦体幹（バランスボール、縄跳び 等）		
18	運動とスポーツの学習	⑧体幹（バランスボール、縄跳び 等）		
19	運動とスポーツの学習	⑨リズム体操		
20	精神の健康	①脳と神経の動き		
21	精神の健康	②欲求不満と適応機能		
22	精神と健康	③心身相関とストレス		
23	応急手当	①応急手当の理解		
24	応急手当	②心肺蘇生の実践		
25	応急手当	③日常的な応急手当		
26	運動やスポーツの学習	⑩球技（卓球、ポートボール、ドッジボール 等）		
27	運動やスポーツの学習	⑪長縄跳び		
28	運動やスポーツの学習	⑫長縄跳び		
29	運動やスポーツの学習	⑬持久力（シャトルラン 等）		
30	スポーツテスト			
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。			
教科書名	プリント等 保健指導 お助けパワーポイントブック 少年写真新聞社 現代高等保健体育 大修館			

科目名	総合日本語	国際科	1年通年
講師	木村 範子	講義	
実務経験のある教員等による指導		8単位 144時間	全33回
科目概要	四技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。四技能を全体的に向上させることを目標とする。		
到達目標	中級から中上級レベルの四技能（読む、聞く、書く、話す）を全体的に向上させることを目標とする。（月曜3限では、音声から日本語の表現法や語彙、正しい発音などを学び、聞き取り理解する力を高める。）		
授業計画			
1	1 課		
2	2 課		
3	3 課		
4	4 課		
5	5 課		
6	6 課		
7	7 課		
8	8 課		
9	9 課		
10	1 0 課		
11	1 1 課		
12	1 2 課		
13	1 3 課		
14	復習		
15	前期定期試験		
16	定期試験FB		
17	1 4 課		
18	1 5 課		
19	1 6 課		
20	1 7 課		
21	1 8 課		
22	1 9 課		
23	2 0 課		
24	2 1 課		
25	2 2 課		
26	2 3 課		
27	2 4 課		
28	2 5 課		
29	復習		
30	復習		
31	後期定期試験		
32	定期試験FB		
33	まとめ		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評価は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	毎日の聞き取り50日（上）		

科目名	総合日本語	国際科	1年通年
講師	木村 範子	講義	
実務経験のある教員等による指導		8単位 144時間	全35回
科目概要	四技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。四技能を全体的に向上させることを目標とする。		
到達目標	中級から中上級レベルの四技能（読む、聞く、書く、話す）を全体的に向上させることを目標とする。（火曜4限では、多様な話題について読み進め、文法知識や語彙の力を鍛え、文意を正しく理解する力を高める。）		
授業計画			
1	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題1①		
2	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題1②		
3	日本語読解 中級 1課		
4	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題2①		
5	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題2②		
6	日本語読解 中級 2課		
7	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題3①		
8	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題3②		
9	日本語読解 中級 3課		
10	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題4①		
11	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題4②		
12	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題5①		
13	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題5②		
14	復習		
15	前期定期試験		
16	前期定期試験FB		
17	日本語読解 中級 5課		
18	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題6①		
19	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題6②		
20	日本語読解 中級 6課		
21	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題7①		
22	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題7②		
23	日本語読解 中級 8課		
24	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題8①		
25	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題8②		
26	日本語読解 中級 10課		
27	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題9①		
28	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題9②		
29	日本語読解 中級 11課		
30	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題10		
31	日本語読解 中級 12課		
32	復習		
33	後期定期試験		
34	後期定期試験FB		
35	まとめ		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める。</p>		
教科書名	<p>必ずできるJLPT「読解」N2</p> <p>話す・書くにつながる！日本語読解 中級</p>		

科目名	総合日本語	国際科	1年通年
講師	上野綾子、高橋尚子	講義	
実務経験のある教員等による指導		8単位 144時間	全33回
科目概要	四技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。四技能を全体的に向上させることを目標とする。		
到達目標	中級から中上級レベルの四技能（読む、聞く、書く、話す）を全体的に向上させることを目標とする。		
授業計画			
1	L1-① 1・2・3		
2	L1-② 4・5		
3	L2-① 1・2		
4	L2-② 3・4		
5	L2-③ 5・6		
6	文法テストL1・L2、L3-① 1・2		
7	FB：文法テストL1・L2、L3-② 3・4		
8	L3-③ 5・6		
9	L3-④ 7		
10	L4-① 1・2		
11	L4-② 3・4		
12	L4-③ 5・6		
13	文法テストL3・L4→FB、復習		
14	定期試験		
15	定期試験FB		
16	L5-① 1・2		
17	L5-② 3・4		
18	L5-③ 5・6		
19	L6-① 1-6		
20	文法テストL5・L6、L7-① 1・2		
21	FB：文法テストL5・L6 L7-② 3・4		
22	L7-③ 5・6・7		
23	L8-① 1・2・3		
24	L8-② 4・5		
25	文法テストL7・L8、L9-① 1・2		
26	FB：文法テストL7・L8、L9-② 3・4		
27	L9-③ 5・6		
28	復習		
29	定期試験		
30	定期試験FB		
31	まとめ		
32	まとめ		
33	まとめ		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める。</p>		
教科書名	『中級を学ぼう 日本語の文型と表現82 中級中期』（スリーエーネットワーク）		

科目名	総合日本語	国際科	1年通年
講師	松本 真夕	講義	
実務経験のある教員 等による指導		8単位 144時間	全32回
科目概要	四技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。四技能を全体的に向上させることを目標とする。		
到達目標	中級から中上級レベルの四技能（読む、聞く、書く、話す）を全体的に向上させることを目標とする。		
授業計画			
1	chapter2 暮らし		
2	chapter2 暮らし		
3	chapter2 暮らし復習		
4	chapter3家について		
5	chapter3家について		
6	chapter3復習		
7	chapter4 学校にて		
8	chapter4 学校にて		
9	chapter4復習		
10	復習		
11	chapter5 会社で		
12	chapter5 会社で		
13	chapter5復習		
14	定期試験		
15	定期試験FB		
16	chapter6		
17	chapter6		
18	chapter6復習		
19	chapter7 健康		
20	chapter7 健康		
21	chapter7復習		
22	chapter8 お気に入り		
23	chapter8 お気に入り		
24	chapter8復習		
25	chapter9 自然と暮らし		
26	chapter9 自然と暮らし		
27	chapter9復習 自然と暮らし		
28	chapter10 ニュース		
29	chapter10 ニュース		
30	定期試験		
31	定期試験FB		
32	復習		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める。</p>		
教科書名	はじめての日本語能力試験N2単語 2 5 0 0		

科目名	日本語能力試験対策		国際科	1年通年
講師	梅山 みどり		講義	
実務経験のある教員等による指導			12単位 216時間	全33回
科目概要	日本語能力試験は、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。まず、N2に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。			
到達目標	日本語能力試験のN2に合格することを目標とする。			
授業計画				
1	ドリル&ドリル	p14, 15 p46, 47	パワードリル	p8, 9
2	ドリル&ドリル	p16, 17 p48, 49	パワードリル	p10, 11
3	ドリル&ドリル	p18, 19 p50, 51	パワードリル	p12, 13
4	ドリル&ドリル	p20, 21 p52, 53	パワードリル	p14, 15
5	ドリル&ドリル	p22, 23 p54, 55	パワードリル	p16, 17
6	ドリル&ドリル	p24, 25 p59	パワードリル	p20, 21
7	ドリル&ドリル	p26, 27 p60, 61	パワードリル	p22, 23
8	ドリル&ドリル	p28, 29 p62, 63	パワードリル	p24, 25
9	ドリル&ドリル	p30, 31 p64, 65	パワードリル	p26, 27
10	ドリル&ドリル	p32, 33 p66, 67	パワードリル	p28, 29
11	ドリル&ドリル	p34, 35 p68, 69	パワードリル	p32, 33
12	ドリル&ドリル	p36, 37 p70, 71	パワードリル	p34, 35
13	ドリル&ドリル	p38, 39 p72, 73	パワードリル	p36, 37
14	ドリル&ドリル	p40, 41 p74, 75	パワードリル	p38, 39
15	定期試験			
16	定期試験FB			
17	ドリル&ドリル	p42, 43 p76, 77	パワードリル	p40, 41
18	ドリル&ドリル	p78, 79	パワードリル	p18 p44, 45
19	ドリル&ドリル	p80, 81	パワードリル	p19 p46, 47
20	ドリル&ドリル	p82, 83	パワードリル	p30 p48, 49
21	ドリル&ドリル	p84, 85	パワードリル	p31 p50, 51
22	ドリル&ドリル	p86, 87	パワードリル	p42 p52, 53
23	ドリル&ドリル	p88, 89	パワードリル	p43 p56, 57
24	ドリル&ドリル	p90, 91	パワードリル	p56 p58, 59
25	ドリル&ドリル	p92, 93	パワードリル	p55 p60, 61
26	ドリル&ドリル	p94, 95	パワードリル	p66 p62, 63
27	ドリル&ドリル	p96, 97	パワードリル	p67 p64, 65
28	ドリル&ドリル	p14, 15 p98, 99	パワードリル	p68, 69
29	ドリル&ドリル	p16, 17 p100, 101	パワードリル	p70, 71
30	ドリル&ドリル	p18, 19 p102, 103	パワードリル	p72, 73
31	定期試験			
32	定期試験FB			
33	ドリル&ドリル	p20, 21	パワードリル	p74, 75, 76, 77
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>			
教科書名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドリル&amp;ドリル日本語能力試験N2文字・語彙</li> <li>・日本語パワードリル2文法</li> </ul>			

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1年通年
講師	上野 綾子☒	講義	
実務経験のある教員等による指導		12単位 216時間	全33回
科目概要	日本語能力試験は、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。日本語能力試験のN2に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験N2に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	ドリル&ドリル：読解 第1回 内容理解 短文 新完全マスター：第1部1.の1) [対比]		
2	ドリル&ドリル：読解 第1回 内容理解 短文 新完全マスター：第1部1.の2) [言い換え]		
3	模擬試験FB		
4	ドリル&ドリル：読解 第1回 内容理解 中文 新完全マスター：第1部1.の3) [比喩]		
5	ドリル&ドリル：読解 第1回 内容理解 中文 新完全マスター：第1部1.の4) [疑問提示文]		
6	模擬試験FB		
7	ドリル&ドリル：読解 第1回 内容理解 統合理解 新完全マスター：第1部1.の5) [主張表現]		
8	ドリル&ドリル：読解 第1回 内容理解 主張理解 新完全マスター：第1部2.の1) 指示語を問う		
9	ドリル&ドリル：読解 第1回 内容理解 情報検索 新完全マスター：第1部2.の2) 「だれが」「なにが」「なにを」などを問う		
10	模擬試験FB		
11	ドリル&ドリル：読解 第2回 内容理解 短文 新完全マスター：第1部2.の3) 下線部の意味を問う		
12	ドリル&ドリル：読解 第2回 内容理解 中文 新完全マスター：第1部2.の5) 例を問う		
13	ドリル&ドリル：読解 第1回 統合理解 新完全マスター：第1部1.の1) [対比]残り～		
14	ドリル&ドリル：読解 第1回 主張理解 新完全マスター：第1部1.の2) [言い換え]残り～		
15	ドリル&ドリル：読解 第1回 情報検索 新完全マスター：第1部1.の3) [比喩]残り～		
16	前期定期試験		
17	前期定期試験FB		
18	後期授業開始：新完全マスター：第1部1.の4) [疑問提示文]、5) [主張表現]残り～		
19	模擬試験FB		
20	新完全マスター：第1部1.の残り～		
21	模擬試験FB		
22	ドリル&ドリル：読解 第2回 短文 新完全マスター：第1部2.の1) 指示語を問う		
23	ドリル&ドリル：読解 第2回 中文 新完全マスター：第1部2.の2) 「だれが」「なにが」「なにを」などを問う		
24	模擬試験FB		
25	ドリル&ドリル：読解 第2回 統合理解 新完全マスター：第1部2.の3) 下線部の意味を問う		
26	ドリル&ドリル：読解 第2回 主張理解 新完全マスター：第1部2.の4) 理由を問う		
27	ドリル&ドリル：読解 第2回 情報検索 新完全マスター：第1部2.の5) 例を問う		
28	ドリル&ドリル：読解 第2回 残り～		
29	新完全マスター：第3部 実践問題		
30	新完全マスター：第3部 実践問題		
31	まとめ		
32	後期定期試験		
33	後期定期試験FB		
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名	『ドリル&ドリル 日本語能力試験N2 聴解・読解』（株式会社ユニコム） 『新完全マスター読解 日本語能力試験N2』（株式会社スリーエーネットワーク）		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1年通年
講師	上野 綾子	講義	
実務経験のある教員 等による指導		12単位 216時間	全35回
科目概要	日本語能力試験は、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。日本語能力試験のN2に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験N2に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	語彙 漢字読み、表記、語形成／聴解 課題理解		
2	語彙 文脈規定、言い換え類義、用法／聴解 ポイント理解		
3	模擬試験FB		
4	文法 文の文法1		
5	模擬試験FB		
6	文法 文の文法2、文章の文法		
7	読解 短文、中文／聴解 概要理解		
8	読解 統合理解、長文、情報検索／聴解 即時応答、統合理解		
9	模擬試験FB		
10	語彙 漢字読み、表記、語形成／聴解 課題理解、ポイント理解		
11	語彙 文脈規定、言い換え類義、用法／聴解 概要理解		
12	文法 文の文法1／聴解 即時応答、統合理解		
13	文法 文の文法2、文章の文法		
14	N2問題		
15	前期定期試験		
16	前期的試験FB		
17	前期のまとめ		
18	後期授業開始：N2問題		
19	読解 短文、中文／聴解 課題理解		
20	模擬試験FB		
21	読解 統合理解、長文、情報検索／聴解 ポイント理解		
22	模擬試験FB		
23	語彙 漢字読み、表記、語形成／聴解 概要理解、即時応答		
24	語彙 文脈規定、言い換え類義、用法／聴解 統合理解		
25	模擬試験FB		
26	N2問題		
27	N2問題		
28	文法 文の文法1／聴解 課題理解、ポイント理解		
29	文法 文の文法2、文章の文法／聴解 概要理解		
30	読解 短文、中文／聴解 即時応答、統合理解		
31	読解 統合理解、長文、情報検索		
32	後期定期試験		
33	後期定期試験FB		
34	後期のまとめ		
35	後期のまとめ		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評価は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	『日本語能力試験N2予想問題集』（国書刊行会） 『20日で合格』（国書刊行会）		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1年通年
講師	永村 洋藤	講義	
実務経験のある教員等による指導		12単位 216時間	全33回
科目概要	日本語能力試験は、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。日本語能力試験のN2に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	木曜2	ドリル&ドリルN2文法1 第6回	
2	木曜2	ドリル&ドリルN2文法2 第6~7回	
3	木曜2	模試	
4	FB	ドリル&ドリルN2文法1 第7回	
5	木曜2	模試	
6	FB	ドリル&ドリルN2 文章の文法 第4回	
7	木曜2	ドリル&ドリルN2文法1 第8回	
8	木曜2	模試	
9	FB		
10	木曜2	ドリル&ドリルN2文法2 第8~9回	
11	木曜2	ドリル&ドリルN2文法1 第9回	
12	木曜2	ドリル&ドリルN2 文章の文法 第5~6回	
13	木曜2	ドリル&ドリルN2文法1 第10回	
14	木曜2	ドリル&ドリルN2文法1 第11回	
15	定期試験		
16	FB		
17	木曜2	ドリル&ドリルN2文法1 第12回	
18	木曜2	ドリル&ドリルN2文法1 第13回	
19	模試		
20	FB	ドリル&ドリルN2文法2 第10~11回	
21	模試		
22	FB		
23	木曜2	ドリル&ドリルN2 文章の文法 第7~8回	
24	模試		
25	FB		
26	木曜2	ドリル&ドリルN2文法1 第14回・第15回	
27	木曜2	ドリル&ドリルN2文法2 第12~13回	
28	木曜2	ドリル&ドリルN2文章の文法第9~10回	
29	木曜2	ドリル&ドリルN2文法1 第16回	
30	定期試験		
31	FB		
32	木曜2	ドリル&ドリルN2文法2 第14回~15回	
33	木曜2	ドリル&ドリルN2文法1 第17回	
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々的小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	『ドリル&ドリル日本語能力試験 N2文法』（ユニコム）		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1年通年
講師	梅山 みどり	講義	
実務経験のある教員 等による指導		12単位 216時間	全33回
科目概要	日本語能力試験は、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。日本語能力試験のN2に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験N2に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	第1回 言語知識 p3～p13		
2	第1回 言語知識 p14～p20		
3	日本語能力試験模試		
4	模試FB		
5	日本語能力試験模試		
6	模試FB		
7	第1回 読解 p22～p29		
8	日本語能力試験模試		
9	模試FB		
10	第1回 読解 p30～p33		
11	第1回 聴解 p37～44		
12	第1回 聴解 p46～48		
13	第2回 言語 p3～p13		
14	第2回 言語 p14～p20		
15	定期試験		
16	定期試験FB		
17	第2回 読解 p22～p29		
18	第2回 読解 p30～p33		
19	日本語能力試験模試		
20	模試FB		
21	日本語能力試験模試		
22	模試FB		
23	第2回 聴解 p37～p44		
24	日本語能力試験模試		
25	模試FB		
26	第2回 聴解 p46～p49		
27	第3回 言語 p3～p13		
28	第3回 言語 p14～p20		
29	第3回 読解 p22～p29		
30	定期試験		
31	定期試験FB		
32	第3回 読解 p30～p33		
33	第3回 聴解 p37～49		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	はじめての日本語能力試験N2 合格模試3回分		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1年通年
講師	松本 真夕	講義	
実務経験のある教員等による指導		12単位 216時間	全32回
科目概要	日本語能力試験は、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。日本語能力試験のN2に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験N2に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	パワードリル文字語彙N2第1回12回		
2	パワードリル文字語彙N2第3回14回		
3	JLPT模試		
4	模試FB		
5	JLPT模試		
6	模試FB		
7	パワードリル文字語彙N215回16回		
8	パワードリル文字語彙N217回18回		
9	JLPT模試		
10	模試FB		
11	パワードリル文字語彙N219回20回		
12	ドリル&ドリルN2聴読解課題理解		
13	ドリル&ドリルN2聴読解課題理解		
14	定期試験		
15	定期試験FB		
16	ドリル&ドリルN2聴読解ポイント理解		
17	ドリル&ドリルN2聴読解ポイント理解		
18	JLPT模試		
19	模試FB		
20	JLPT模試		
21	模試FB		
22	ドリル&ドリルN2聴読解概要理解		
23	ドリル&ドリルN2聴読解概要理解		
24	ドリル&ドリルN2聴読解概要理解		
25	ドリル&ドリルN2聴読解即時応答		
26	ドリル&ドリルN2聴読解即時応答		
27	ドリル&ドリルN2聴読解即時応答		
28	ドリル&ドリルN2聴読解総合理解		
29	ドリル&ドリル総合理解		
30	ドリル&ドリル総合理解		
31	定期試験		
32	定期試験FB		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	「パワードリル文字語彙N2」「ドリル&ドリル聴解 N2」		

科目名	ビジネス日本語	国際科	1年通年
講師	鈿農 美智子	講義	金曜4限
実務経験のある教員等による指導		2単位 36時間	全32回
科目概要	仕事をするうえで役に立つ日本語表現を学ぶ。ロールプレイを通して敬語を正しく使えるようになるなど、実際の現場で使われる表現や日本語の知識を習得することを目標とする。		
到達目標	実際に働く際に役立つ日本語の知識を習得することを目標とする。		
授業計画			
1	第1課 「紹介する」 導入		
2	第1課 「紹介する」		
3	第1課 「紹介する」		
4	第1課 「紹介する」		
5	第1課 「紹介する」		
6	第1課 「紹介する」		
7	第1課 「紹介する」 復習		
8	第2課 「あいさつをする」 導入		
9	第2課 「あいさつをする」		
10	第2課 「あいさつをする」		
11	第2課 「あいさつをする」		
12	第2課 「あいさつをする」		
13	第2課 「あいさつをする」 復習		
14	前期定期試験		
15	定期試験FB、第3課 「電話をかける・受ける」 導入		
16	第3課 「電話をかける・受ける」		
17	第3課 「電話をかける・受ける」		
18	後期授業開始：第3課 「電話をかける・受ける」		
19	第3課 「電話をかける・受ける」		
20	第3課 「電話をかける・受ける」 復習		
21	第4課 「注意する・注意を受ける」 導入		
22	第4課 「注意する・注意を受ける」		
23	第4課 「注意する・注意を受ける」		
24	第4課 「注意する・注意を受ける」		
25	第4課 「注意する・注意を受ける」		
26	第4課 「注意する・注意を受ける」 復習		
27	第5課 「頼む・断る」 導入		
28	第5課 「頼む・断る」		
29	第3課の復習		
30	第4課の復習		
31	後期定期試験		
32	定期試験FB、第5課 「頼む・断る」		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々的小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	『にほんで働く！ビジネス日本語30時間』（スリーエーネットワーク）		

科目名	日本事情	国際科	1年通年
講師	上村 ひとみ	講義	火曜2限
実務経験のある教員等による指導		2単位 36時間	全35回
科目概要	日本社会、日本文化、日本人に対して「日本」に関するあらゆる知識を深め、日本人と関係を作る上で、大切なことを学ぶ。		
到達目標	日本のビジネスの場で実際に行われている様々なコミュニケーションを理解し、自ら適切に表現できる能力を身に付ける。		
授業計画			
1	Chapter 2 -1		
2	Chapter 1 -2		
3	Chapter 1 -3		
4	Chapter 1 -4		
5	Chapter 1 -5		
6	Chapter 1 -6		
7	Chapter 1 -7		
8	Chapter 1 -8		
9	Chapter 1 -9		
10	Chapter 1 -10		
11	Chapter 2-1		
12	Chapter 2-2		
13	4月からの復習		
14	4月からの復習		
15	前期定期試験		
16	前期定期試験FB		
17	Chapter 2-3		
18	Chapter 2-4		
19	Chapter 2-5		
20	Chapter 2-6		
21	Chapter 2-7		
22	Chapter 2-8		
23	Chapter 2-9		
24	Chapter 2-10		
25	Chapter 3-1		
26	Chapter 3-2		
27	Chapter 3-3		
28	Chapter 3-4		
29	Chapter 3-5		
30	Chapter 3-6		
31	後期試験前復習		
32	後期試験		
33	後期試験FB		
34	Chapter 3-7		
35	Chapter 3-8		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	『マンガで体験！ にっぽんのカイシャ』（日本漢字能力検定協会）		

科目名	日本語レベルアップ	国際科	1年通年
講師	上村 ひとみ	講義	
実務経験のある教員等による指導		4単位 72時間	全33回
科目概要	「話す」を中心に学び、自ら発信する力を伸ばす力を身につけることに焦点を当て、日本語を運用できる力を習得する。		
到達目標	「読む」「書く」を中心に日本語の運用能力向上を目標とする。		
授業計画			
1	1課 読む		
2	1課 読む		
3	1課 書く		
4	1課 話す		
5	1課 話す		
6	1課 聞く		
7	1課 まとめ		
8	2課 読む		
9	2課 読む		
10	2課 書く		
11	2課 話す		
12	2課 話す		
13	2課 聞く		
14	2課まとめ		
15	前期試験		
16	前期試験FB		
17	3課 読む		
18	3課 読む		
19	3課 書く		
20	3課 話す		
21	3課 話す		
22	3課 聞く		
23	3課 まとめ		
24	4課 読む		
25	4課 読む		
26	4課 書く		
27	4課 話す		
28	4課 話す		
29	4課 聞く		
30	後期試験		
31	後期試験FB		
32	5課 読む		
33	5課 読む		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める。</p>		
教科書名	4技能で広がる中級日本語カルテットⅠ、Ⅱ（ジャパンタイムズ出版）		

科目名	日本語レベルアップ	国際科	1年通年
講師	上村 ひとみ	講義	
実務経験のある教員等による指導		4単位 72時間	全33回
科目概要	実用性重視の文章を書くことを学び、自ら発信する力を伸ばす力を身につけることに焦点を当て、日本語を運用できる力を習得する。		
到達目標	「聞く」「話す」を中心に日本語の運用能力向上を目標とする。		
授業計画			
1	1課 読む		
2	1課 読む		
3	1課 書く		
4	1課 話す		
5	1課 話す		
6	1課 聞く		
7	1課 まとめ		
8	2課 読む		
9	2課 読む		
10	2課 書く		
11	2課 話す		
12	2課 話す		
13	2課 聞く		
14	2課 まとめ		
15	前期試験		
16	前期試験FB		
17	3課 読む		
18	3課 読む		
19	3課 書く		
20	3課 話す		
21	3課 話す		
22	3課 聞く		
23	3課 まとめ		
24	4課 読む		
25	4課 読む		
26	4課 書く		
27	4課 話す		
28	4課 話す		
29	4課 聞く		
30	後期試験		
31	後期試験FB		
32	5課 読む		
33	5課 読む		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める。</p>		
教科書名	4技能で広がる中級日本語カルテットⅠ、Ⅱ（ジャパンタイムズ出版）		

科目名	通訳入門	国際科	1年通年
講師	TRAN NGOC TRINH	講義	月曜2限
実務経験のある教員等による指導		8単位 144時間	全33回
科目概要	語彙力、文法力をさらに伸ばす。通訳を行う上で、大切になるシャドーイング、ディクテーション、要約等の「基本」の練習を行い、通訳者としての基礎を作ることを目標とする。1年次に土台をしっかり作っておくことで2年次への橋渡しができる。通訳者になるための初めの一步を学ぶ。翻訳の基礎もこの授業の中を含める。		
到達目標	通訳者としての基礎を作ることを目標とする。		
授業計画			
1	『イラストでわかる～』～Lesson4「一方」 文法項目確認+例文ベトナム語訳 『日本語能力試験～』実践練習 問題1 課題理解 1番 ベトナム語訳		
2	『イラストでわかる～』～Lesson8「うえでは」 文法項目確認+例文ベトナム語訳 『日本語能力試験～』実践練習 問題2 ポイント理解 1番 ベトナム語訳		
3	『イラストでわかる～』～Lesson12「おそれがある」 文法項目確認+例文ベトナム語訳 『日本語能力試験～』実践練習 問題3 概要理解 1番 ベトナム語訳		
4	『イラストでわかる～』～Lesson16「かけ」 文法項目確認+例文ベトナム語訳 『日本語能力試験～』実践練習 問題4 即時応答 ～5番 ベトナム語訳		
5	『イラストでわかる～』～Lesson20「かねます」 文法項目確認+例文ベトナム語訳 『日本語能力試験～』実践練習 問題5 統合理解 1番 ベトナム語訳		
6	『イラストでわかる～』～Lesson24「からには、」 文法項目確認+例文ベトナム語訳 『日本語能力試験～』実践練習 問題1 課題理解 2番 ベトナム語訳		
7	『イラストでわかる～』～Lesson28「Vた+きり」 文法項目確認+例文ベトナム語訳 『日本語能力試験～』実践練習 問題2 ポイント理解 2番 ベトナム語訳		
8	『イラストでわかる～』～Lesson32「～げな」 文法項目確認+例文ベトナム語訳 『日本語能力試験～』実践練習 問題3 概要理解 2番 ベトナム語訳		
9	『イラストでわかる～』～Lesson36「ことです」 文法項目確認+例文ベトナム語訳 『日本語能力試験～』実践練習 問題4 即時応答 6番～10番 ベトナム語訳		
10	『イラストでわかる～』～Lesson40「ことにする」 文法項目確認+例文ベトナム語訳 『日本語能力試験～』実践練習 問題5 統合理解 2番 ベトナム語訳		
11	『イラストでわかる～』～Lesson44「～際は」 文法項目確認+例文ベトナム語訳 『日本語能力試験～』実践練習 問題1 課題理解 3番 ベトナム語訳		
12	『イラストでわかる～』～Lesson48「～せられる/される」文法項目確認+例文ベトナム語訳 『日本語能力試験～』実践練習 問題2 ポイント理解 3番 ベトナム語訳		
13	『イラストでわかる～』～Lesson52「～次第で」文法項目確認+例文ベトナム語訳 『日本語能力試験～』実践練習 問題3 概要理解 3番 ベトナム語訳		
14	まとめ		
15	前期定期試験		
16	前期定期試験FB		
17	まとめ		
18	後期授業開始：『イラストでわかる～』～Lesson56「～せずに」文法項目確認+例文ベトナム語訳 『日本語能力試験～』実践練習 問題4 即時応答 11番～15番 ベトナム語訳		
19	『イラストでわかる～』～Lesson60「～だけあって」文法項目確認+例文ベトナム語訳 『日本語能力試験～』実践練習 問題5 統合理解 3番 ベトナム語訳		
20	『イラストでわかる～』～Lesson64「～ために」文法項目確認+例文ベトナム語訳 『日本語能力試験～』実践練習 問題1 課題理解 4番 ベトナム語訳		
21	『イラストでわかる～』～Lesson68「つけ」文法項目確認+例文ベトナム語訳 『日本語能力試験～』実践練習 問題2 課題理解 4番 ベトナム語訳		
22	『イラストでわかる～』～Lesson72「～っぱなし」文法項目確認+例文ベトナム語訳 『日本語能力試験～』実践練習 問題3 概要理解 4番 ベトナム語訳		
23	『イラストでわかる～』～Lesson76「～てたまらない」文法項目確認+例文ベトナム語訳 『日本語能力試験～』実践練習 問題4 即時応答 16番～20番 ベトナム語訳		
24	『イラストでわかる～』～Lesson80「～というより」文法項目確認+例文ベトナム語訳 『日本語能力試験～』実践練習 問題5 統合理解 4番 ベトナム語訳		
25	活動		
26	『イラストでわかる～』～Lesson84「～通り」文法項目確認+例文ベトナム語訳 『日本語能力試験～』実践練習 問題1 課題理解 5番 ベトナム語訳		
27	『イラストでわかる～』～Lesson88「としたら」文法項目確認+例文ベトナム語訳 『日本語能力試験～』実践練習 問題2 ポイント理解 5番 ベトナム語訳		
28	『日本語能力試験～』実践練習 問題3 概要理解、問題5 統合理解 5番 ベトナム語訳 問題4 即時応答 問題21番～25番 ベトナム語訳		
29	活動		
30	活動		
31	後期定期試験		
32	後期定期試験FB		
33	まとめ		
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名	『イラストでわかる日本語表現 中級 [改訂版]』（国書刊行会） 『日本語能力試験 N2 聴解スピードマスター』（Jリサーチ出版）		

科目名	通訳入門	国際科	1年通年
講師	TRAN NGOC TRINH	講義	月曜2限
実務経験のある教員等による指導		8単位 144時間	全33回
科目概要	語彙力、文法力をさらに伸ばす。通訳を行う上で、大切になるシャドーイング、ディクテーション、要約等の「基本」の練習を行い、通訳者としての基礎を作ることを目標とする。1年次に土台をしっかり作っておくことで2年次への橋渡しができる。通訳者になるための初めの一步を学ぶ。翻訳の基礎もこの授業の中に含める。		
到達目標	通訳者としての基礎を作ることを目標とする。		
授業計画			
1	・キクタン 名詞	・就活・しごとの会話	Stage 1-1-①
2	・キクタン する名詞	・就活・しごとの会話	Stage 1-1-②
3	・キクタン 動詞	・就活・しごとの会話	Stage 1-1-③
4	・キクタン 形容詞	・就活・しごとの会話	Stage 1-1-④
5	・キクタン 副詞	・就活・しごとの会話	クッションことば
6	・キクタン その他	・就活・しごとの会話	Stage 1-2-③
7	・キクタン 名詞	・就活・しごとの会話	Stage 1-2-④
8	・キクタン する名詞	・就活・しごとの会話	Stage 1-3-①
9	・キクタン 動詞	・就活・しごとの会話	Stage 1-3-②
10	・キクタン 形容詞	・就活・しごとの会話	Stage 1-3-③
11	・キクタン 副詞	・就活・しごとの会話	Stage 2-1-①
12	・キクタン その他	・就活・しごとの会話	Stage 2-1-②
13	・キクタン 名詞	・就活・しごとの会話	Stage 2-1-③
14	・キクタン する名詞	・就活・しごとの会話	Stage 2-1-④
15	復習		
16	定期試験		
17	定期試験 F B		
18	・キクタン 動詞	・就活・しごとの会話	Stage 3-1-①～②
19	・キクタン 形容詞	・就活・しごとの会話	Stage 3-1-③
20	・キクタン 副詞	・就活・しごとの会話	Stage 3-2-⑧
21	・キクタン その他	・就活・しごとの会話	Stage 3-3-①
22	・キクタン 名詞	・就活・しごとの会話	Stage 3-3-②
23	・キクタン する名詞	・就活・しごとの会話	Stage 3-3-③
24	・キクタン 動詞	・就活・しごとの会話	Stage 3-3-④
25	・キクタン 形容詞	・就活・しごとの会話	Stage 3-3-⑤
26	・キクタン 副詞	・就活・しごとの会話	フレーズ集 p2
27	・キクタン その他	・就活・しごとの会話	フレーズ集 p3
28	・就活・しごとの会話	フレーズ集 p4	
29	・就活・しごとの会話	フレーズ集 p5-6	
30	復習		
31	定期試験		
32	定期試験 F B		
33	復習		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。</p>		
教科書名	<p>・キクタン日本語【日本語能力試験N2】</p> <p>・1日10分のシャドーイング！ 就活・仕事のにほんご会話</p>		

科目名	通訳入門	国際科	1年通年
講師	上野 綾子	講義	火曜6限
実務経験のある教員等による指導		8単位 144時間	全34回
科目概要	語彙力、文法力をさらに伸ばす。通訳を行う上で、大切になるシャドーイング、ディクテーション、要約等の「基本」の練習を行い、通訳者としての基礎を作ること目標とする。1年次に土台をしっかりと作っておくことで2年次への橋渡しができる。通訳者になるための初めの一歩を学ぶ。翻訳の基礎もこの授業の中に含める。		
到達目標	通訳者としての基礎を作ること目標とする。		
授業計画			
1	『イラストでわかる～』～Lesson4「一方」 文法項目確認+例文作成 『日本語能力試験～』実践練習 問題1 課題理解 1番 内容確認+ディクテーション等		
2	『イラストでわかる～』～Lesson8「うえでは」 文法項目確認+例文作成 『日本語能力試験～』実践練習 問題2 ポイント理解 1番 内容確認+ディクテーション等		
3	『イラストでわかる～』～Lesson12「おそれがある」 文法項目確認+例文作成 『日本語能力試験～』実践練習 問題3 概要理解 1番 内容確認+ディクテーション等		
4	『イラストでわかる～』～Lesson16「かけ」 文法項目確認+例文作成 『日本語能力試験～』実践練習 問題4 即時応答 ～5番 応答想像+ディクテーション等		
5	『イラストでわかる～』～Lesson20「かねます」 文法項目確認+例文作成 『日本語能力試験～』実践練習 問題5 統合理解 1番 内容確認+ディクテーション等		
6	『イラストでわかる～』～Lesson24「からには、」 文法項目確認+例文作成 『日本語能力試験～』実践練習 問題1 課題理解 2番 内容確認+ディクテーション等		
7	『イラストでわかる～』～Lesson28「Vた+きり」 文法項目確認+例文作成 『日本語能力試験～』実践練習 問題2 ポイント理解 2番 内容確認+ディクテーション等		
8	『イラストでわかる～』～Lesson32「～げな」 文法項目確認+例文作成 『日本語能力試験～』実践練習 問題3 概要理解 2番 内容確認+ディクテーション等		
9	『イラストでわかる～』～Lesson36「ことです」 文法項目確認+例文作成 『日本語能力試験～』実践練習 問題4 即時応答 6番～10番 応答想像+ディクテーション		
10	『イラストでわかる～』～Lesson40「ことにする」 文法項目確認+例文作成 『日本語能力試験～』実践練習 問題5 統合理解 2番 内容確認+ディクテーション等		
11	『イラストでわかる～』～Lesson44「～際は」 文法項目確認+例文作成 『日本語能力試験～』実践練習 問題1 課題理解 3番 内容確認+ディクテーション等		
12	『イラストでわかる～』～Lesson48「～せられる/される」文法項目確認+例文作成 『日本語能力試験～』実践練習 問題2 ポイント理解 3番 内容確認+ディクテーション等		
13	『イラストでわかる～』～Lesson52「～次第で」文法項目確認+例文作成 『日本語能力試験～』実践練習 問題3 概要理解 3番 内容確認+ディクテーション等		
14	まとめ		
15	まとめ		
16	前期定期試験		
17	前期定期試験FB		
18	後期授業開始：『イラストでわかる～』～Lesson56「～せずに」文法項目確認+例文作成 『日本語能力試験～』実践練習 問題4 即時応答 11番～15番 応答想像+ディクテーション等		
19	『イラストでわかる～』～Lesson60「～だけあって」文法項目確認+例文作成 『日本語能力試験～』実践練習 問題5 統合理解 3番 内容理解+ディクテーション等		
20	『イラストでわかる～』～Lesson64「～ために」文法項目確認+例文作成 『日本語能力試験～』実践練習 問題1 課題理解 4番 内容理解+ディクテーション等		
21	『イラストでわかる～』～Lesson68「つけ」文法項目確認+例文作成 『日本語能力試験～』実践練習 問題2 課題理解 4番 内容理解+ディクテーション等		
22	『イラストでわかる～』～Lesson72「つばなし」文法項目確認+例文作成 『日本語能力試験～』実践練習 問題3 概要理解 4番 内容理解+ディクテーション等		
23	『イラストでわかる～』～Lesson76「～てたまらない」文法項目確認+例文作成 『日本語能力試験～』実践練習 問題4 即時応答 16番～20番 応答想像+ディクテーション等		
24	『イラストでわかる～』～Lesson80「～というより」文法項目確認+例文作成 『日本語能力試験～』実践練習 問題5 統合理解 4番 内容理解+ディクテーション等		
25	活動		
26	『イラストでわかる～』～Lesson84「～通り」文法項目確認+例文作成 『日本語能力試験～』実践練習 問題1 課題理解 5番 内容確認+ディクテーション等		
27	『イラストでわかる～』～Lesson88「～したら」文法項目確認+例文ベトナム語訳 『日本語能力試験～』実践練習 問題2 ポイント理解 5番 内容確認+ディクテーション等		
28	『日本語能力試験～』実践練習 問題3 概要理解 問題5 統合理解 5番 内容確認+ディクテーション等 問題4 即時応答 問題21番～25番 内容確認+ディクテーション等		
29	総復習		
30	活動		
31	活動		
32	後期定期試験		
33	後期定期試験FB		
34	活動発表		
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名	『イラストでわかる日本語表現 中級 [改訂版]』（国書刊行会） 『日本語能力試験 N2聴解スピードマスター』（Jリサーチ出版）		

科目名	通訳入門	国際科	1年通年
講師	白濱 明子	講義	木曜5限
実務経験のある教員等による指導		8単位 144時間	全33回
科目概要	語彙力、文法力をさらに伸ばす。通訳を行う上で、大切になるシャドーイング、ディクテーション、要約等の「基本」の練習を行い、通訳者としての基礎を作ることを目標とする。1年次に土台をしっかりと作っておくことで2年次への橋渡しができる。通訳者になるための初めの一步を学ぶ。翻訳の基礎もこの授業の中に含める。		
到達目標	通訳者としての基礎を作ることを目標とする。		
授業計画			
1	・キクタン 名詞	・就活・しごとの会話	Stage 1-1-①
2	・キクタン する名詞	・就活・しごとの会話	Stage 1-1-②
3	・キクタン 動詞	・就活・しごとの会話	Stage 1-1-③
4	・キクタン 形容詞	・就活・しごとの会話	Stage 1-1-④
5	・キクタン 副詞	・就活・しごとの会話	クッションことば
6	・キクタン その他	・就活・しごとの会話	Stage 1-2-③
7	・キクタン 名詞	・就活・しごとの会話	Stage 1-2-④
8	・キクタン する名詞	・就活・しごとの会話	Stage 1-3-①
9	・キクタン 動詞	・就活・しごとの会話	Stage 1-3-②
10	・キクタン 形容詞	・就活・しごとの会話	Stage 1-3-③
11	・キクタン 副詞	・就活・しごとの会話	Stage 2-1-①
12	・キクタン その他	・就活・しごとの会話	Stage 2-1-②
13	・キクタン 名詞	・就活・しごとの会話	Stage 2-1-③
14	・キクタン する名詞	・就活・しごとの会話	Stage 2-1-④
15	復習		
16	定期試験		
17	定期試験FB		
18	・キクタン 動詞	・就活・しごとの会話	Stage 3-1-①~②
19	・キクタン 形容詞	・就活・しごとの会話	Stage 3-1-③
20	・キクタン 副詞	・就活・しごとの会話	Stage 3-2-⑧
21	・キクタン その他	・就活・しごとの会話	Stage 3-3-①
22	・キクタン 名詞	・就活・しごとの会話	Stage 3-3-②
23	・キクタン する名詞	・就活・しごとの会話	Stage 3-3-③
24	・キクタン 動詞	・就活・しごとの会話	Stage 3-3-④
25	・キクタン 形容詞	・就活・しごとの会話	Stage 3-3-⑤
26	・キクタン 副詞	・就活・しごとの会話	フレーズ集 p2
27	・キクタン その他	・就活・しごとの会話	フレーズ集 p3
28	・就活・しごとの会話	フレーズ集 p4	
29	・就活・しごとの会話	フレーズ集 p5-6	
30	復習		
31	定期試験		
32	定期試験FB		
33	復習		
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める。		
教科書名	・キクタン日本語【日本語能力試験N2】 ・1日10分のシャドーイング！ 就活・仕事のほんご会話		